

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	精神看護学概論	授業科目名	精神看護学概論
授業回数・時間	14回 30時間	開講年次	2年次 前期
単位	1単位（精神保健と合わせて1単位）		
担当教員	舘坂 恵		
科目目標	1. 心の健康・不健康と病気について学ぶ。 看護の概念について学ぶ。 制度について理解する。 2. 精神 3. 精神保健福祉 ※主に2. が該当		
学習内容	1. 社会環境の変化と社会病理 様々な状況における心の動き の場と対象 2. 心の健康・不健康 4. メンタルヘルスケア 6. 精神看護学の概念 7. 精神看護の役割 ※主に6. 7. が該当 3. 5. 精神看護 8. 地域精神保健福祉活動		
回	講義内容	講師又は備考	
1	①精神看護学概論での学習内容を把握することができる。 疾患をもちながら生活する人の体験談(DVD)を視聴し、精神疾患を患う人の 思いを知ることができる。	②精神 講義 DVD 視聴	
2	①精神疾患を患いながら生活する人の思いを知り、看護者としてどうあるべきかを考え、互いの考え・思いを述べる ことができる。 から精神的健康とは何かを考え理解を深める。	②互いの意見 講義	
3	①精神保健の目的と精神保健医療政策を理解する。 精神保健における第1次予防、第2次予防、第3次予防を理解する。 ③リカバリーを機軸とした精神医療を理解する。 看護の考え方とその役割を理解する。	②地域 講義 ワ ークシート	
4	①DVD「カッコーの巣の上で」視聴し、精神科病棟での望ましい生活を考えると共に、精神看護の変遷について学ぶ。	DVD 視聴	
5	① “ 視聴の感想文記入	②DVD DVD 視聴 講義	
6	①脳の構造と認知機能について理解する。 機能の神経基盤について理解する。 構造とはたらきについて学ぶことの意味を理解する。 はたらきについての精神力動理論を理解する。	②認知 講義 ワ ークシート ③精神(心)の ④精神(心)の構造と	
7	①発達に関する古典的な理論について理解する。 デンティティの概念について理解する。 念の基本について理解する。 味について理解する。	②アイ 講義 ワ ークシート ③「愛着」概 ④「自己実現」の意 ⑤思考能力の年齢による差	
	試験		
教科書	新体系 看護学全書 精神看護学 精神看護概論：メヂカルフレンド社		
授業形態	講義 DVD 視聴 ワークシート記述式		
評価方法	発問 質問用紙 直接観察法 出席状況 課題提出状況 状況 授業態度 ワークシート記述		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	精神看護学援助論 I	授業科目名	精神障害時の看護
授業回数・時間	7回 15時間	開講年次	2年次 前期
単位	1単位（精神障害の理解を含む）		
担当教員	渋谷 義幸		
科目目標	1. 精神障害を持つ人とその家族について学ぶ。 2. 精神症状・診療に対する看護を学ぶ。		
学習内容	1. 精神症状を抱える人の理解と援助 2. 診察・検査・治療に伴う看護 3. 患者家族の理解と援助		
回	講義内容	講師又は備考	
1	患者看護師関係		
2	コミュニケーション、服薬自己管理		
3	服薬自己管理、入院治療		
4	治療環境と事故・隔離・拘束		
5	統合失調症		
6	感情障害・強迫観念		
7	てんかん		
8	試験		
9			
10			
11			
12			
13			
14			
教科書	精神障害を持つ人の看護 新体系看護学 メヂカルフレンド社		
授業形態	講義		
評価方法	筆記試験 出席状況		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	精神看護学援助論Ⅱ	授業科目名	精神看護過程
授業回数・時間	7回 15時間	開講年次	2年次 後期
単位	1単位		
担当教員	工藤 慎也		
科目目標	1. 精神障害を抱える人の看護過程を学ぶ。 障害者とのコミュニケーション技術を学ぶ。 2. 精神		
学習内容	1. 事例を用いた看護過程の展開 場面の再構成（プロセスレコード） 2. 看護		
回	講義内容	講師又は備考	
1	看護過程のための患者理解		
2	ゴードンの機能的健康パターン分類		
3	ゴードンの機能的健康パターン分類		
4	ゴードンの機能的健康パターン分類		
5	全体像について		
6	全体像について		
7	問題の明確化・看護計画について		
教科書	精神障害を持つ人の看護 新体系看護学 メヂカルフレンド社		
授業形態	講義		
評価方法	出席状況 課題等		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	母性看護学援助論Ⅱ	授業科目名	周産期異常の理解と援助
授業回数・時間	7回 15時間（試験1時間を含む）	開講年次	2年次 後期
単位	1単位		
担当教員	鈴木洋一郎、須郷孝信		
科目目標	1. 妊娠・分娩・新生児・産褥期の異常について理解する。 2. 周産期異常に対する看護を学ぶ。		
学習内容	1. 妊娠期の異常と看護 2. 分娩 3. 産褥の異常と看護 4. 新生児期の異常と看護		
回	講義内容	講師又は備考	
1	分娩の異常①		
2	分娩の異常②		
3	課題学習		
4	新生児と産褥の異常③④		
5	ハイリスク妊娠		
6	ハイリスク妊娠		
7	ハイリスク妊娠		
8	試験		
9			
10			
11			
12			
13			
14			
教科書	母性看護学(2) 系統看護学講座 医学書院		
授業形態	講義		
評価方法	筆記試験 出席状況		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	精神看護学援助論 I	授業科目名	精神障害の理解
授業回数・時間	7回 15時間	開講年次	2年次 後期
単位	1単位（精神障害時の看護を含む）		
担当教員	岸 賢治		
科目目標	1. 精神障害の歴史と現在の考え方を理解する。 看護の主な症状・診断・検査と治療について理解する。 2. 精神		
学習内容	1. 精神症状・中枢神経症状 障害の診断と検査 の治療 2. 精神 3. 主な精神障害		
月曜日 17:50～19:20			
回	講義内容	講義日程（案）	
1		8月30日	
2		9月6日	
3		9月13日	
4		9月27日	
5		10月4日	
6		10月11日	
7		10月18日	
8	試験	10月25日	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
教科書	精神障害を持つ人の看護 新体系看護学 メヂカルフレンド社		
授業形態	講義		
評価方法	筆記試験 出席状況		

科目名	母性看護学援助論 I	授業科目名	正常な周産期の理解と援助
授業回数・時間	15回 30時間	開講年次	2年次 前期
単位	1単位		
担当教員	三浦 初枝、伊藤 久子、本田 有加		
科目目標	1. 周産期の正常な身体的・心理的变化を理解する。 2. 周産期及び申請時期における健康問題を解決するための援助方法を学ぶ。		
学習内容	1. 母性の発揮を促す看護 2. 妊娠期の看護 3. 分娩期の看護 4. 産褥期の看護 5. 新生児期の看護		
回	講義内容	講師又は備考	
1	母性看護とは、母親になるということ		
2	出生前診断、不妊症の治療と看護		
3	不妊治療の実際、看護のポイント		
4	産褥経過		
5	観辱アセスメントと看護		
6	産褥の異常と看護		
7	妊娠期の特徴と看護		
8	妊婦と胎児のアセスメント		
9	妊娠中の不快症状と過ごし方、母性に関する法律		
10	入院受け入れと分娩時の看護		
11	産褥のアセスメント、胎児のアセスメント		
12	妊娠・分娩・産褥期の異常と看護		
13	新生児における看護		
14	新生児の異常と看護		
15	試験		
教科書	母性看護学 (2) 系統看護学講座 医学書院		
授業形態	講義		
評価方法	筆記試験 課題提出 出席状況		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	成人看護学援助論 I	授業科目名	内科看護
授業回数・時間	15回 30時間（試験1時間を含む）	開講年次	2年次 前期
単位	1単位		
担当教員	毛利 暢子		
科目目標	1. 成人期の健康障害に応じた看護を理解する。 2. 内科的治療を受ける人の看護を理解する。		
学習内容	1. 健康障害の段階に応じた看護 2. 主な治療・検査を受ける患者の看護 3. 内科的治療を受ける患者の看護		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	血液・造血器障害患者の看護		
2	血液・造血器障害患者の看護		
3	脳神経障害患者の看護		
4	腎障害患者の看護		
5	アレルギー、膠原病、感染症患者の看護		
6	アレルギー、膠原病、感染症患者の看護		
7	試験		
8	循環器疾患患者の看護		
9	循環器疾患患者の看護		
10	内分泌・代謝疾患患者の看護		
11	内分泌・代謝疾患患者の看護		
12	呼吸器疾患患者の看護		
13	消化器疾患患者の看護		
14	呼吸器疾患患者の看護		
15	消化器疾患患者の看護		
16	試験		
教科書	成人看護学 (2) ~ (8) 系統看護学講座 医学書院		
授業形態	講義		
評価方法	筆記試験 課題提出 出席状況		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	小児看護学援助論 I	授業科目名	小児臨床看護総論
授業回数・時間	5回 10時間	開講年次	2年次 前期
単位	1単位 (小児疾患20時間を含む)		
担当教員	落合 美穂		
科目目標	1. 健康な小児の日常生活とその援助を学ぶ。 2. 小児期に起こりやすい主な健康障害を理解する。		
学習内容	1. 疾病・障害をもつ小児と家族 2. 小児における疾病の経過と看護 3. 症状を呈する小児と看護 4. 検査・処置を受ける小児と看護		
回	講義内容	講師又は備考	
1	病気・障害をもつ子どもと家族の看護		
2	症状を示す子どもの看護		
3	検査・処置を受ける子どもの看護		
4	障害のある子どもと家族の看護		
5	子どもの虐待と看護		
6	試験		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
教科書	小児看護学 (1) 系統看護学講座 医学書院		
授業形態	講義		
評価方法	出席状況 筆記試験		

科目名	小児看護学援助論 I	授業科目名	小児疾患
授業回数・時間	10回 20時間（試験1時間を含む）	開講年次	2年次 前期
単位	1単位（小児臨床看護総論10時間を含む）		
担当教員	柿崎良樹（2回）、秋田直子（2回）、工藤恵美子、塩谷睦子、松原徹、荒井宏治、八木秀樹、箕浦恵		
科目目標	1. 健康な小児の日常生活とその援助を学ぶ。 2. 小児期に起こりやすい主な健康障害を理解する。		
学習内容	1. 小児期に起きやすい主な健康障害 2. 健康障害にある小児の看護		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	免疫・アレルギー疾患		
2	感染症		
3	染色体異常、新生児の疾患		
4	呼吸器・消化器疾患		
5	腎・泌尿器疾患		
6	感染症		
7	循環器疾患		
8	内分泌疾患		
9	血液疾患		
10	神経疾患		
11	試験		
12			
13			
14			
教科書	小児看護学（2） 系統看護学講座 医学書院		
授業形態	講義		
評価方法	出席状況 筆記試験		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	小児看護学援助論Ⅱ	授業科目名	小児臨床看護各論
授業回数・時間	10回 20時間	開講年次	2年次 後期
単位	1単位（小児看護過程・技術を含む）		
担当教員	葛西かおる・工藤晶子・工藤和子・小杉麻里子		
科目目標	主な疾患に罹患した小児の看護を理解する。		
学習内容	1. 各疾患をもつ小児と家族への看護		
回	講義内容	講師又は備考	
1	先天異常と看護、血液・造血器疾患の看護		
2	新生児の看護		
3	代謝性疾患と看護、内分泌疾患と看護		
4	免疫・アレルギー疾患と看護		
5	感染症と看護		
6	呼吸器疾患と看護		
7	循環器疾患と看護		
8	消化器疾患と看護、悪性新生物と看護		
9	腎・泌尿器及び生殖器疾患と看護、神経疾患と看護		
10	試験		
11			
12			
13			
14			
教科書	母性看護学（2） 系統看護学講座 医学書院		
授業形態	講義		
評価方法	出席状況 筆記試験		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	小児看護学援助論Ⅱ	授業科目名	小児看護過程・技術
授業回数・時間	5回 10時間	開講年次	2年次 後期
単位	1単位（小児臨床看護各論を含む）		
担当教員	鳴海 美紀子		
科目目標	小児の看護過程を学ぶ。		
学習内容	事例による看護過程の展開 小児看護技術（演習）		
回	講義内容	講師又は備考	
1	小児看護過程の特徴 1. 事例紹介	講義	
2	2. アセスメント	ワーク	
3	3. 看護問題の明確化	ワーク	
4	4. 関連図	ワーク	
5	5. 看護計画・評価	ワーク	
6	6. 沐浴技術演習	技術試験	
7	7. 児頭計測	技術試験	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
教科書	小児臨床看護総論 医学書院		
授業形態	講義、グループワーク（看護過程）技術試験		
評価方法	看護過程（出席状況 授業参加度）と技術試験 100点満点の平均点		

科目名	老年看護援助論Ⅱ	授業科目名	老年期の健康障害時の看護
授業回数・時間	7回 15時間（試験1時間を含む）	開講年次	2年次 後期
単位	1単位		
担当教員	齋藤 優香		
科目目標	高齢者の健康障害の状況に応じた援助の実際を理解する。		
学習内容	1. 健康を障害した高齢者の看護 例による看護過程の展開 2. 事		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	症候のアセスメントと看護①発熱～⑧褥瘡		
2	身体疾患のある高齢者の看護①脳卒中～⑩骨折		
3	認知機能障害のある高齢者の看護①うつ～③認知症	DVD	
4	看護過程の展開 看護過程の考え方 事例の紹介		
5	看護過程の展開 事例の展開 アセスメント		
6	看護過程の展開 事例の展開 看護計画の立案		
7	終末期における看護	DVD	
8	終講試験		
9			
10			
11			
12			
13			
14			
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 老年看護学 医学書院		
授業形態	講義・DVD		
評価方法	出席状況 筆記試験 授業態度		

科目名	成人看護学援助論Ⅱ	授業科目名	外科看護
授業回数・時間	15回 30時間（試験1時間を含む）	開講年次	2年次 前期
単位	1単位		
担当教員	福士和希（5回）、奈良岡慎（3回）、奈良和子（1回）、村上世津子（2回）、村上久美子（2回）、千葉和代（1回）		
科目目標	1. 成人期の健康障害に応じた看護を理解する。 2. 外科的治療を受ける人の看護を理解する。		
学習内容	1. 外科看護の特徴と看護目標 2. 外科看護の基礎 3. 救命救急・周手術期における患者の看護 4. 外科的治療を受ける患者の看護 5. 周手術期の看護過程		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	外科看護総論		
2	外科看護総論		
3	手術前患者の看護		
4	手術後患者の看護（合併症）		
5	集中治療を受ける患者の看護、手術を受ける高齢者の看護		
6	臨床外科看護各論、回復手術と腹腔鏡下手術の違い		
7	手術中患者の看護		
8	胃がん、大腸がんの手術を受ける患者の看護		
9	脳外科看護		
10	肝、胆嚢、副腎摘出術を受ける患者の看護		
11	脳外科看護		
12	呼吸器外科看護		
13	胸部疾患看護		
14	循環器外科看護		
	試験		
教科書	臨床外科看護総論 臨床外科看護各論 系統看護学講座 医学書院		
授業形態	講義 演習		
評価方法	筆記試験 課題提出 出席状況		

令和3年度

第52期生

実務経験のある教員等による授業科目

科目名	老年看護援助論 I	授業科目名	老化の理解と援助
授業回数・時間	7回 14時間	開講年次	2年次 後期
単位	1単位		
担当教員	須藤 みつ子		
科目目標	老化の持つ諸側面が、高齢者の生命や生活にどのような問題をもたらすのかを理解し必要な援助の基本を学ぶ。		
学習内容	1. 老化 2. 認知症 ----- 1. 老年看護と介護予防 2. 高齢者の日常生活 3. 認知症高齢者の理解と援助		
授業計画			
回	講義内容	講師又は備考	
1	認知症		
2	老化・老年症候群 1		
3	老化・老年症候群 2		
4	試験		
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
教科書	鳥羽研二ほか：老年看護学・老年看護（病態疾病論） 医学書院		
授業形態	講義		
評価方法	出席状況 筆記試験		